



早いもので、今週末からから2月に入ります。このところぐっと冷え込む日が多く、春の到来が待ち遠しいこの頃です。

今週の日曜日、2月4日は「立春」です。暦の上では、春ということになります。前日の2月3日は「季節を分ける」という意味で「節分」です。この節分の日に、豆まきをされるご家庭も多いのではないのでしょうか。本校でも1日早く、2月2日（金）に「せつぶんきゅうしょく」が予定され、節分にちなみ「いわしのかばやき」と「福豆（ふくまめ）」がメニューに並びます。もともとは、季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると意味で、鬼をはらうために豆まきが始まり、「豆（穀物）には生命力と魔除けの力が備わっていて、鬼に豆をぶつけて邪気を追い払い、1年の無病息災を願う」のだそうです。季節の変わり目には、体調がすぐれないという事もあるので、こうした行事が行われてきたのかもしれない。

さて、今年度も残すところあと2か月となりました。4月からこれまでの子どもたち一人ひとりの学び・育ちを振り返り、あと2か月でベストな状態で進学・進級できるよう、教職員一同がんばります。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。



大谷選手からの贈り物



皆様もすでにご存じのことと思いますが、メジャーリーガーの大谷翔平選手から3つの野球グローブが学校に寄贈されました。ホームページで紹介したように、1月9日、3学期始業式の日子どもたちにお披露目しました。また、6年生から順番に3つのグローブを回し、実際に手に取ったりはめてみたりしました。今度は、実際に使ってみたいと思っています。

3つのグローブといっしょに、一通の手紙も添えられていました。その手紙の中には、

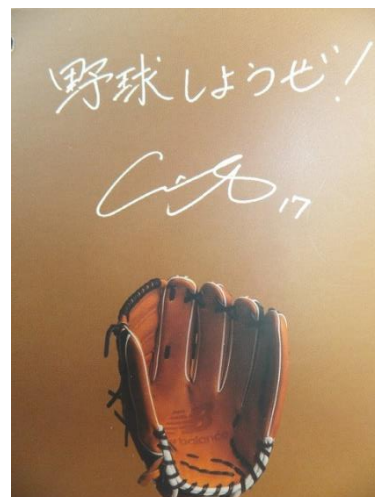
「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。

それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」と綴られ、

そして最後に「野球しようぜ。」の一言で締めくくられていました。今年2024年の干支は、「甲辰（きのえたつ）」です。

「甲辰」には、「成功の芽が成長し、姿を変えていく」という意味があるそうです。言い換えれば、「これまでの努力が実って、夢が叶う」ということになるのでしょうか。

コロナ禍を脱して迎えた2024年。竜王西小学校の子どもたちにとっても、新たな成長・成功を目指して、いろいろなことにチャレンジする1年にしたいと願っています。



災害に備える

元日の夕刻に飛び込んできた能登半島地震という大きな災害、そして、翌2日には、能登に救援物資を運ぼうとしていた海上保安庁の飛行機と旅客機の事故…。尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りすると共に、ご家族をなくされた方々、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

災害は、いつどこで起こるか分かりません。能登半島地震の発生からおよそ一ヶ月が経とうとしていますが、改めて日頃の備えの重要性を実感しました。

被災地では依然として断水・停電が続いている地域があり、避難所におけるトイレの確保やその衛生面が大きな課題の一つとなっています

本校も災害時における避難所に指定されています。本校では現在、体育館前のスペースに「マンホールトイレシステム」設置工事が進められています。「マンホールトイレシステム」とは、下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するものです。

繰り返しになりますが、災害はいつ起こるか分かりません。私たち一人一人も「備え」を自分事として考えていかなければならないと再認識させられました。



スキー教室 in サンメドウズ清里

1月25日にスキー教室に行ってきました。5年生が6つの班に分かれインストラクターの指導のもと、ウインタースポーツを楽しみました。天候にも恵まれ(とても寒い一日でしたが…)スキーの楽しさを全員が実感することができました。

